

# かみあたご 6月

世帯と人口 (令和8年5月1日現在)

区分	世帯	人口
浜松市 (前月比)	361,696 (1,043)	775,609 (152)
天竜区 (前月比)	11,670 (-8)	24,017 (-88)
上阿多古 (前月比)	366 (-2)	772 (-10)

発行 上阿多古ふれあいセンター活動推進委員会・浜松市  
場所 浜松市天竜区西藤平1555 TEL:928-0002

## 夏に向けたハーバリウムづくり

ハーバリウムとは、ドライフラワーなどを透明な瓶などに入れオイルを注いで作ります。今回は夏に向けて涼のある作品を作ろうと思います。

日時 R8年7月22日(水)  
午後1時30分～3時30分

場所 上阿多古ふれあいセンター(実習室)

講師 小栗 美和子 先生

材料費 1,000円(当日集金)

定員 15名(先着順)

持ち物 老眼鏡(必要な方)



申し込みは上阿多古ふれあいセンターに申し込んでください。  
☎928-0002

## 布ぞうり作り講座

布ぞうりは素足にさらりと心地良く、健康的です。履くだけで足裏が整います。室内履きで利用するので、室内の清掃が出来ます。布ぞうりはネットに入れて洗濯機で簡単に洗えます。お手入れが簡単で、いつでも清潔に使用できます。



是非この機会に布ぞうりを作ってみませんか。



日時 R8年7月8日(水)午後1時30分～3時30分

場所 上阿多古ふれあいセンター 実習室1

講師 水野 正義 先生

材料費 100円(当日集金)

定員 10名(先着順)

持ち物 布が切れるハサミ、水分補給用飲み物

申込み 6月22日(月)までに上阿多古ふれあいセンターに申込下さい。



# 天竜文芸【第17号】～作品募集のお知らせ～

身の回りのさまざまなできごとや、忘れがたい体験、天竜区の歴史・自然など、あなたの思いの文を綴ってみませんか？ 皆さまの力作を心よりお待ちしております。

### 募集期間

令和8年6月1日(月)～7月31日(金) <消印有効>

### 種目・制限

- (1) 創作・評論・自然・歴史・文化 1編 400字詰原稿用紙30枚以内
- (2) 随筆 1編 400字詰原稿用紙15枚以内
- (3) 詩 2編以内
- (4) 短歌 5首以内
- (5) 俳句 5句以内
- (6) 川柳 5句以内

※ (1)と(2)は、いずれか1種目。(3)～(6)と併せて2種目は可。(1人2種目以内)

### 応募資格

- ・天竜区内に在住・在勤・在学のいずれかの方(ただし中学生以上)
- ・天竜区出身者 (例) 現住所 磐田市(天竜区米沢出身)
- ・天竜区内文芸団体所属者 (例) 現住所 浜名区於呂(秋葉句会)

### 応募方法

- ・直接または郵送、Eメールで提出。Eメール件名を「天竜文芸応募原稿」。
- ・原稿用紙かパソコン原稿(20字×20行・縦書き・A4判)で。
- ・CD、DVDでの提出も可。
- ・原稿の欄外に種目と題名を記入。
- ・原稿の末尾に住所・氏名・職業・学校名・電話番号・年齢を記入。所属の文芸団体名があれば記入。

### 応募上の注意

- ・手書きの応募作品は、原稿用紙にはっきり楷書で。
- ・常用漢字、現代かなづかいを使用(ただし、短歌、俳句および資料引用の場合はこの限りではありません)。
- ・原稿枚数厳守。写真、イラスト等は掲載できない場合があります。
- ・応募原稿は返却しません。投稿後の修正はご遠慮ください。本人の創作で未発表のものに限ります。
- ・主催者が制作する機関誌や広報誌、「天竜文芸」、「はままつ電子図書」、ホームページへの掲載、記録の目的のために印刷・刊行する出版物等に関する著作権は、主催者に帰属します。

### 発行日

令和8年12月18日 発行予定

### 提出および お問合せ先

〒431-3392 浜松市天竜区二俣町二俣481

天竜区役所まちづくり推進課 文化生涯学習グループ「天竜文芸応募原稿」

E-mail : tn-bunka@city.hamamatsu.shizuoka.jp

TEL:053-922-0086

## 主催／天竜区文芸誌発行事業実行委員会



父の日の戸棚に眠る丸眼鏡

久子

茶農家の空家改造新茶の香

幸子

青い空開けし波璃戸や風薫る

倫郎

若葉道辿る鑑真御影堂

良重

更衣暖簾短かし通し土間

朝子

今月の俳句

「長月句会」

### 上阿多古幼稚園だより

色水づくりが楽しかったよ!



園庭に咲いているパンジーやタンポポなど身近な草花とすり鉢とすりこぎを使って、色水づくりをしました。「きれいなジュースになった。」と毎日楽しむ中で、「ゼリーみたいに固めたい。」「何を入れたら固まるのかな。」などと相談し、小麦粉やトイレットペーパーをちぎったもの、ポンドなどを入れて試しました。どれもそれぞれがドロツとしたり固まったりしましたが、本物のゼリーにしたいという思いから、本物のゼリーに使う寒天というのを知り、入れてみました。すると、イメージ通りの本物のゼリーになり、大喜びのこどもたちでした。